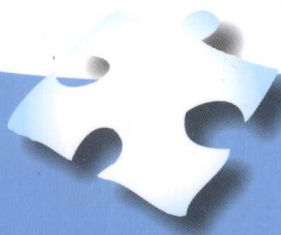


服务外包工程教育规划教材

全国服务外包人才培养高峰论坛组织编写



服务外包实用日语

《服务外包实用日语》编写组 编著

清华大学出版社



服务外包工程教育规划教材

全国服务外包人才培养高峰论坛组织编写

服务外包实用日语

《服务外包实用日语》编写组 编著

清华大学出版社
北京

内 容 简 介

本书主要由“计算机日语”和“商务日语”这两部分内容及附录组成。计算机日语部分详细介绍了日文的输入法,归纳了上百个常用的计算机日语专业词汇,对于软件开发工程的流程以及开发过程中涉及的主要文书进行了详细说明,同时附有部分技术资料供读者参考。商务日语部分体现了日企内部的工作交流方式以及一些基本的职业素养,包括如何使用敬语、如何交换名片、如何写商务文书等。附录介绍了软件开发中的多种开发文档以及常用对日软件外包专业用语,供读者参考。书中内容实用性强,能让读者在今后的工作中更加游刃有余。本书适用于具有“国际日本语能力鉴定考试”三级水平以上,且希望了解对日软件服务外包行业或希望从事对日软件开发工作的读者,对于现已从事对日软件开发工作并希望进一步提高日语水平的读者也有一定的帮助。

本书封面贴有清华大学出版社防伪标签,无标签者不得销售。

版权所有,侵权必究。侵权举报电话:010-62782989 13701121933

图书在版编目(CIP)数据

服务外包实用日语/《服务外包实用日语》编写组编著.--北京:清华大学出版社,2012.6

(服务外包工程教育规划教材)

ISBN 978-7-302-28167-2

I. ①服… II. ①服… III. ①服务业—对外承包—日语 IV. ①H36

中国版本图书馆CIP数据核字(2012)第034059号

责任编辑:袁勤勇 张为民

封面设计:常学影

责任校对:焦丽丽

责任印制:李红英

出版发行:清华大学出版社

网 址: <http://www.tup.com.cn>, <http://www.wqbook.com>

地 址:北京清华大学学研大厦A座 邮 编:100084

社总机:010-62770175 邮 购:010-62786544

投稿与读者服务:010-62776969, c-service@tup.tsinghua.edu.cn

质量反馈:010-62772015, zhiliang@tup.tsinghua.edu.cn

印 装 者:北京嘉实印刷有限公司

经 销:全国新华书店

开 本:185mm×260mm 印 张:13.25

字 数:309千字

版 次:2012年6月第1版

印 次:2012年6月第1次印刷

印 数:1~3000

定 价:23.00元

产品编号:044148-01

IT エンジニア日本語

IBM 訓練基地の実践的な日本語教材

服务外包工程教育规划教材 编写委员会

主任：

何积丰 中国科学院院士

执行主任：

詹国华 杭州师范大学杭州国际服务工程学院执行院长

副主任(按拼音排序)：

鲍 泓 北京联合大学副校长

顾 明 国家服务外包人力资源研究院、清华大学软件学院副院长

罗军舟 东南大学计算机学院、软件学院院长

温 涛 大连东软信息学院院长

杨小虎 浙江大学软件学院副院长、浙大网新副总裁

常晋义 常熟理工学院国际服务工程学院院长

吴克寿 厦门理工学院软件与服务外包学院院长

委员(按拼音排序)：

白 云	包 健	常中华	陈 刚	陈超祥	陈春玲	陈永强	樊光辉
樊丽淑	冯秀君	宫冠英	顾玲妹	顾永根	郭 权	何世明	胡俊云
黄 斌	蒋晓舰	黎 明	李 兢	李继芳	李黎青	李占军	李正帆
凌 云	刘 清	刘国龙	刘海麓	刘锦高	刘俊成	刘勇兵	刘正涛
卢 雷	卢维亮	陆 冰	马长伟	毛爱亮	倪筱斌	秦绪好	屈中华
邵 云	邵定宏	沈 洪	沈荣大	施永进	石 冰	石 峰	宋旭明
孙崇理	孙建国	汤 伟	田详宏	屠立忠	万 健	王 军	王 瑞
王斌耀	王秉全	王汉成	王红娅	王杰华	王青青	王万良	吴鸿雁
吴育锋	徐瑞兰	徐文彬	徐一旻	宣舒钧	宣逸芬	薛锦云	严盈富
杨 方	杨东勇	杨欢耸	杨季文	杨起帆	叶 林	叶时平	叶勇抱
易 勇	应 晶	余 军	余国扬	袁 玫	袁兆山	袁贞明	张 民
张瑞林	张少华	张慰兮	张玉华	张再越	赵 辉	赵 梅	郑 涛
郑志军	支芬和	周 宇	朱春风	朱彦蓉	祝建中		

策划编辑：

袁勤勇 清华大学出版社

伴随着全球信息化浪潮，以信息技术为依托，利用外部专业服务商的知识劳动力，来完成原来由企业内部完成的工作，从而达到降低成本、提高效率、提升企业对市场环境迅速应变能力并优化企业核心竞争力的服务模式席卷全球。这种称之为“服务外包”的模式对新兴发展国家优化产业结构，转变贸易增长方式有着重要作用。印度、菲律宾、乌克兰等国家都在大力发展这种具有科技含量高、附加值大、资源消耗低、吸纳就业能力强的产业。

近年来，中国作为后起之秀，凭借在宏观经济环境、基础设施、政策支持、劳动力成本等方面的优势，已成为全球服务外包转移方首选的承接地之一。2011年，中国社科院发布的《中国服务外包发展报告》预测，10年之后，中国很有可能取代印度成为承接高科技服务最多的国家。伴随着产业的蓬勃发展，人才资源匮乏成了制约服务外包产业发展的主要瓶颈。但是，在传统教育体制下大量应届毕业生苦于就业无果，另一方面服务外包产业又需要大量人才。为此，以杭州为代表的21个国家服务外包示范城市专门针对服务外包产业需求建立了一批服务外包学院，形成政府、高校、服务外包企业、人才培训机构“四位一体”的服务外包人才培养体系，力求人才培养与企业需求无缝对接。

2011年4月，第二届“全国服务外包人才培养高峰论坛”在杭州召开，与会代表在探索服务外包人才培养新思路、新模式、新方法的交流中深感服务外包教材的匮乏，专门就教材编写开展了热烈的讨论，并决定成立“服务外包工程教育规划教材”编委会，组织来自国内外服务外包一线企业工程师和高等院校教师共同策划和编写教材，并启动了首批18本教材的编写工作。这套教材针对外语应用、软件与信息服务、金融信息服务、创新管理、跨国界文化等都编写成书，涵盖了服务外包领域从业所需知识和技能。这套教材以产业需求为导向，是校企合作开展服务外包人才培

养的一次有益实践，对探索我国服务外包产业和工程创新人才的培养具有积极的意义。

最后，我衷心希望“服务外包工程教育规划教材”教材能成为一套高等院校、培训机构培养服务外包人才行之有效的教材，使服务外包人才培养工作事半功倍。也希望这套教材能成为教师及学生的良师益友，得到大家的喜爱。

中国科学院院士 何积丰

2011年9月于杭州

前

言

在软件外包行业迅速发展的今天，因为我国临近日本，并且文化背景极为相似，在这些得天独厚的条件下，越来越多的人开始从事或者希望踏入对日软件服务外包这一行业，而此时，外语成了我们最大的障碍。虽然日语中有我们熟悉的汉字，但是面对我们从未接触过的日文操作系统和一系列的日文文档，我们该如何应对？

于是，我们开始想方设法地提高自己的日语能力，买各种各样的日语教材，上各种形式的日语培训班，但是我们也渐渐意识到市面上现有的日语教材和各类日语培训班都有一定的局限性，缺乏针对性，无法满足希望从事对日软件服务外包行业人员的需求。

IBM实训基地一直致力于培养优秀的对日软件开发工程师，在培训的过程中积累了丰富的经验，并结合学员的实际需求在教学过程中潜心研究，精心编写出了一系列针对软件服务外包行业的教材，《服务外包实用日语》就是其中一本比较有特色的教材，它将学习和工作中经常涉及的计算机日语和商务日语巧妙地融合在一起，能让读者系统地了解对日软件开发的流程，熟悉开发式样书，掌握对日软件开发业务过程中必须要掌握的知识与技能，而且整本书都用日文编写，要求读者的日语应有一定的基础。

这是一本出自实践的书，当然也会有很多不足之处，希望广大读者能提出宝贵的意见。

编者

2012年3月

はじめに

「IT エンジニア日本語」は、IT エンジニアのための^{せんもんてき} 専門的かつ^{じっせんてき} 実践的 な日本語学習の教材であり、日本語^{のうりよくしけん} 能力試験 三級レベルの文法の学習を^{しゅうりょう} 終了 した者を^{たいしやう} 対象 としている。

この教材は大きく分けて二つの^{ないやう} 内容 から^{こうせい} 構成 されている。第1部は^{たいにち} 対日 ソフトウェア^{かいはつ} 開発 の^{ぎやうむ} 業務 において使用する「IT 日本語」、第2部は一般的な仕事で使用する「ビジネス日本語」である。さらに^{ようごしゅう} 用語集 などの^{ふろく} 「付録」がある。

ここでは、IT 日本語とビジネス日本語に関して、「読む」「書く」「聞く」「話す」の^{そうごうてき} 総合的 な能力を身に付けることを^{もくひやう} 目標 としている。特に、ソフトウェア開発に^{ふかけつ} 不可欠 なコンピュータでの日本語の^{にゅうりよく} 入力 を含む、^{ふく} 専門用語の読み書きの能力を^{きやうか} 強化 することに^{じゅうてん} 重点 を置いている。このため、現場で一般に使われている^{げんば} 表現 を多く取り入れている。

また、この教材によって学習者が IT の専門的な日本語だけでなく、対日ソフトウェア開発の業務に必要な^{きそてき} 基礎的 な^{ちしき} 知識 と^{ぎじゆつ} 技術 も身に付けることができるように^{はいりよ} 配慮 している。開発^{こうてい} 工程 や^{しやうしよ} 仕様書、仕事のコミュニケーションなどについて^{きほんてき} 基本 的な^{りかい} 理解 が得られるように、対日ソフトウェア開発の^{しゅほう} 手法 や^{じれい} 事例、コミュニケーションの^{りろん} 理論 なども^{しやうかい} 紹介 している。

なお、この教材は IT とビジネスの専門的な日本語に^{はんい} 範囲 を^{げんてい} 限定 しているため、^{いっばん} 一般 に日本での仕事で^{ひつよう} 必要 とされる日本語能力試験二級以上の文法や^{ごい} 語彙 については、^ふ 触れていない。これらは他の教材によって学習することが望ましい。

ところで、この教材は、IBM ^{くんれんきち} 訓練基地 の日本語 ^{けんしゅう} 研修 において使用することを^{そうてい} 想定 して、杭州潤秀軟件有限公司が^{とくべつ} 特別 に^{へんしゅう} 編集 したものである。^{したが} 従 って、一部は基地の^{じやうきやう} 状況 に合わせた内容となっている。また、基地の^{かてい} 研修課程 に沿ったため、能力試験三級レベルの学習者を対象としているが、より高いレベルの一般の学習者にも十分に^{やくだ} 役立つ 内容である。

IBM 訓練基地では、以下のような対日ソフトウェアエンジニアの研修課程があ

り、一部の基地では IT 専門日本語研修でこの教材を使用している。

IBM 訓練基地の研修課程(研修期間 9カ月の場合)

3 ヶ月	3 ヶ月	3 ヶ月
日本語基礎研修 (能力試験三級レベル)	IT 基礎研修	ETP 実践研修
	IT 専門日本語研修	日本語強化研修

ETP: Experience Training Program

以下に IBM 訓練基地が定めた日本語の学習目標を示す。日本語基礎(三級レベル)の目標も含まれる。

日本語の学習目標

日本語の能力	関係する内容
読む	
仕様書(設計書)を読解できる	IT エンジニア日本語、ETP
プロジェクトの資料(技術説明資料)を読解できる	IT エンジニア日本語、ETP
書く	
週報を書くことができる	IT エンジニア日本語、ETP
Q&A 票を書くことができる	IT エンジニア日本語、ETP
簡単な文法で仕様書(設計書)を書くことができる	IT エンジニア日本語、ETP
プログラムのコメントを書くことができる	IT エンジニア日本語、ETP
電子メールを書くことができる	IT エンジニア日本語、ETP
聞く	
簡単な会話を聞き取れる	日本語基礎(三級レベル)
簡単な書き取りができる	日本語基礎(三級レベル)
話す	
標準の発音ができる	日本語基礎(三級レベル)
プロジェクトの紹介ができる	IT エンジニア日本語、ETP
ビジネス 日常 会話(会議、報告等)ができる	IT エンジニア日本語、ETP
簡単な仕様の打ち合わせができる	IT エンジニア日本語、ETP

これらの他に、敬語、あいさつ、自己紹介、名刺交換、面接の会話、上司や顧客との会話など、日本向けの仕事に必要なマナーやコミュニケーション技術を身に付け

ることも目標としてこの教材を編集している。

さらに、より高いレベルを^{めざ}目指す学習者のために、やや難しい内容も取り入れているが、三級レベルの学習者にも読みやすいようにルビ(ふりがな)を^ふ振っている。付録には仕様書のサンプルや用語集などがあり、仕事でも^{かつよう}活用できる^{こうせい}構成として

编者

2012年3月



第 1 部分 IT 日本語	1
IT 日本語の課程	3
第 1 章 日本語入力基礎	5
1. 日本語の入力方法	5
2. ひらがなとカタカナの入力	9
3. アルファベットと記号の入力	12
4. 単語と文章の入力練習	13
第 2 章 IT 用語	16
1. IT 用語の学習方法	16
2. IT 用語の入力練習	20
第 3 章 ソフトウェア開発工程	23
1. ソフトウェア開発工程(Software Development Process)とは	23
2. 開発工程モデル(Development Process Model)	24
3. 開発工程の概要	29
4. 工程表(進捗管理表)	30
第 4 章 ソフトウェア開発仕様書	32
1. ソフトウェア開発仕様書とは	32
2. 主な仕様書	33
3. 仕様書でよく使う文法	38
第 5 章 プログラムのコメントと技術資料	40
1. プログラムのコメント	40
2. 技術資料	45

第2部分 ビジネス日本語	49
ビジネス日本語の課程	51
第1章 仕事のコミュニケーション	54
1. 仕事のコミュニケーションとは	54
2. あいさつ・おじぎ・敬語	55
3. 報連相(ほうれんそう)	56
4. メモ・質問・確認	57
5. 5W2H	58
6. 対人関係	60
第2章 敬語	62
1. 敬語の基礎	62
2. ビジネス常用敬語	67
3. 例文比較	69
第3章 あいさつと名刺交換	71
1. あいさつ	71
2. 名刺交換	74
第4章 ビジネス基本会話	77
1. オフィスでの会話	77
2. 上司との会話	79
3. 顧客との会話	82
4. 電話での会話	84
5. 会話での注意	88
第5章 面接	89
1. 面接の手順	89
2. 面接での注意	90
3. 面接での自己紹介	91
4. 面接の質問と回答例	92
5. プロジェクトの紹介	94
第6章 ビジネス文書	96
1. 電子メール	96

2. 報告書	98
3. 議事録	99
付録	103
付録 1 IT用語集	105
付録 2 技術履歴書サンプルと対訳	126
付録 3 ソフトウェア開発仕様書サンプル	138
付録 4 技術資料サンプル	143
付録 5 ビジネス用語集	149

第1部分

IT 日本語

.....

第1章 日本語入力基礎

第2章 IT用語

第3章 ソフトウェア開発工程

第4章 ソフトウェア開発仕様書

第5章 プログラムのコメントと技術資料

IT 日本語の課程

第1章 日本語入力基礎

◆ 目標

PCでの日本語 にゅうりょくほうほう 入力方法を しゅうとく 習得する。

◆ 講義

1. 日本語の入力方法
2. ひらがなとカタカナの入力
3. アルファベットと記号の入力
4. 単語と文章の入力練習

◆ 練習

1. 50音図(ひらがな、カタカナ)を さくせい 作成する。(Word)
2. 記号を入力する。(Word)
3. たんご 単語と ぶんしょう 文章を入力する。(Word)

第2章 IT用語

◆ 目標

基本的なIT用語(500語以上)を理解し、正しく使用できる。

◆ 講義

1. IT用語の学習方法
2. IT用語の入力練習

◆ 練習

1. IT用語を入力する。(Word)
2. 技術 りれきしよ 履歴書を作成する。(Excel)

第3章 ソフトウェア開発工程

◆ 目標

1. ソフトウェアの開発工程を理解する。
2. 工程表(しんちよくかんりひょう 進捗管理表)を作成できる。